



国 家 検 定

令和3年度 前期 技能検定受検案内 (技能五輪大阪府大会参加案内を含む)

技能検定は、職業能力開発促進法に基づき、働く人達の技能を一定の基準によって検定し、これを公証する国家検定制度であり、受検される皆さんの技能と社会的地位の向上を図り、多角化する産業の発展に即応することを目的としています。

前期の技能検定は、検定職種ごとに1級・単一等級・2級・3級に区分し、大阪府知事の委任を受けて、実技試験と学科試験を大阪府職業能力開発協会が行います。

技能検定に合格された方には、1級及び単一等級の場合は厚生労働大臣から、2級・3級の場合は大阪府知事から合格証書が交付され、技能士と称することができます。

1 実施日程【前期】

区 分		日 程	備 考
実 施 公 示		令和3年3月1日(月)	受検に関する問合せの受付を開始します。
受 検 申 請 受 付		令和3年4月5日(月) から 令和3年4月16日(金) まで	受検申請書は郵送で提出してください。 * 4月16日(金)の当日消印有効です。
実 技 試 験	問 題 公 表	令和3年5月31日(月) から	製作等作業試験に必要な持参工具の確認が行えます。問題が非公開の作業もあります。
	実 施 日	令和3年6月7日(月) から 【令和3年8月8日(日) まで ★】 令和3年9月12日(日) まで	試験の日時・場所が決まり次第、受検票(封筒)で通知します。
	全国統一実施日	令和3年8月22日(日) 令和3年8月29日(日) 令和3年9月5日(日)	統一実施職種(作業)の試験日は(表1-1, 1-2, 1-3)のとおりです。 * 受検票(封筒)で通知します。
学 科 試 験 実 施 日		令和3年7月11日(日) ★ 令和3年8月22日(日) 令和3年8月29日(日) 令和3年9月1日(水) 令和3年9月5日(日)	学科試験の試験日は、(表1-1, 1-2, 1-3)のとおりです。 * 受検票(封筒)で通知します。
合 格 発 表		令和3年8月27日(金) ★ 令和3年10月1日(金)	* 合格発表日に試験結果通知書を発送します。

★は、金属熱処理を除く3級職種が対象です。



大阪府職業能力開発協会

〒550-0011 大阪市西区阿波座2-1-1
大阪本町西第一ビルディング6階
電 話 06-6534-7510
FAX 06-6534-7511
ホームページ <https://www.osaka-noukai.jp>

技能検定受検申請及び試験実施に係る新型コロナウイルス感染症予防対策について

当協会におきましては、技能検定の実施に際し、3密（密閉・密集・密接）を避ける等、感染拡大の防止対策を講じてまいりますが、受検者の皆様も下記の留意点について、ご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

1. 受検申請について

令和3年度の技能検定試験（前期）の受検申請書の受付は、全て郵送で受付をいたします。郵送の際は、発送と受領の履歴が残る簡易書留やレターパックプラス等で送付してください。

受検手数料の納付については、申請書の資格審査終了後、当協会から連絡をいたしますので、連絡後1週間以内に指定の銀行口座にお振込みください。

2. 受検者の皆様への留意点

- ① 試験会場では必ずマスク着用（持参）、こまめな手洗い・手指消毒と身体的距離の確保を徹底してください。
- ② 試験日前2週間における以下の事項に該当される場合には、受検をお断りすることをご了承願います。
 - ☐ 平熱を超える発熱 ☐ 咳、のどの痛みなどの風邪の症状 ☐ だるさ（倦怠感）、息苦しさ
 - ☐ 嗅覚や味覚の異常 ☐ 身体が重く感じる、疲れやすい等 ☐ 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合 ☐ 同居家族や身近な知人の感染が疑われる方がいる場合
 - ☐ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国地域等への渡航又は当該国等の在住者との濃厚接触がある場合
- ③ 試験当日、会場入口において検温し、体温が37.0度以上あり、一時待機後、再検温しても体温が下がらない場合、または風邪の症状がある場合は受検をお断りすることをご了承願います。
- ④ 来場中、体調に異変を感じた時は、速やかに試験関係者に申し出てください。
- ⑤ 受検者同士の会話は控えていただくようお願いいたします。なお、会場内で昼食を取れない会場もあります。また、昼食を取れる場合でも対人距離を空け、同様に会話は控えてください。
- ⑥ 試験会場では定期的に窓等を開けて換気を行うため、室温の高低に対応して容易に着衣・脱衣できるよう、服装には十分注意してください。また、会場によっては屋外からの騒音が入ることがありますので、ご承知おきください。

3. 当協会の感染防止対策

- ① アルコール消毒液は、各試験会場で準備・設置いたします。
- ② 各試験会場では、密閉を避ける為、機械換気や窓やドアを開けて換気を行います。
- ③ 座席等の配置は間隔を開け、身体的距離の確保をいたします。
- ④ 技能検定委員・補佐員等につきましてもマスクを着用いたします。なお、試験形式（判断等試験など）により、試験関係者がフェイスシールド等を着用いたします。

4. 学科・実技試験の受検者数の制限について

「3密」を回避するために必要な試験会場が確保できない場合は、学科・実技試験の受検者数を制限することがありますので、あらかじめご了承ください。

5. 学科試験会場について

学科試験（同一会場での実技試験「計画立案等作業試験」）については、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の一環として試験会場を分散実施します。ご自身の受検する【職種・作業、級】の試験会場は受検票によりお知らせいたしますので、必ず確認してください。

6. 試験の中止または延期について

新型コロナウイルス感染の状況によりましては、試験の中止や延期となる可能性があります。この場合は、当協会のホームページで発表いたしますので、指定された試験日前には必ずホームページをご確認いただきますようお願いいたします。 ★ ホームページアドレス <https://www.osaka-noukai.jp>

7. 試験実施の詳細について

各職種・作業の試験実施の詳細については、職種・作業ごとの新型コロナウイルス感染症への感染防止対策を含めて、実技試験・学科試験の受検票に同封し、別途お知らせいたします。

2 実技試験受検手数料の減額措置について

平成29年度後期より技能検定実技試験受検手数料の減額措置が行われています。

(1) 減額措置の対象者

以下の⑦～⑩に挙げる要件をすべて満たす場合に実技試験の受検手数料が減額されます。

- ⑦ ものづくり分野の技能検定2級又は3級の実技試験を受検する者。(都道府県が実施する検定職種は全て対象となります)
- ⑧ 35歳未満の者。(実技試験実施日が属する年度の4月1日において35歳に達していない者)
本年度は生年月日が昭和61年4月2日以降の方が対象です。
- ⑨ 出入国管理及び難民認定法(昭和26年政令第319号。以下「入管法」という)別表第一の上欄の在留資格をもって在留する者以外の者(14ページ参照)

(2) 減額される受検手数料額

受検手数料の減額は最大9,000円です。ただし、減額措置適用後の額が2,900円を下回る場合は、実技試験の受検手数料は2,900円となります。

※受検手数料は作業により異なります。

社会人（在職者）	受 検 手 数 料 一 覧 表	
	※ 右 記 以 外 の 作 業	婦 人 子 供 注 文 服 製 作 作 業 機 械 検 査 作 業
減 額 対 象 外	18,200円	15,100円
2 級 減 額 対 象 者	9,200円	6,100円
3 級 減 額 対 象 者	9,200円	6,100円

在校生（2級受検）	受 検 手 数 料 一 覧 表	
	※ 右 記 以 外 の 作 業	婦 人 子 供 注 文 服 製 作 作 業
減 額 対 象 外	18,200円	15,100円
2 級 減 額 対 象 者	9,200円	6,100円

在校生（3級受検）	受 検 手 数 料 一 覧 表	
	※ 右 記 以 外 の 作 業	機 械 検 査 作 業
減 額 対 象 外	12,100円	10,100円
3 級 減 額 対 象 者	3,100円	2,900円

※ 平成29年度後期より受検申請書の裏面に本人確認の為の公的書類の添付が必要になりました。(14ページ参照)

3 実施職種、受検手数料及び試験実施日程

(1) 令和3年度前期の技能検定は、(表1-1)の1・2級 43職種 79作業、(表1-2)の単一等級 5職種 6作業、(表1-3)の3級 14職種 20作業について、検定職種・作業ごとに実技試験及び学科試験によって実施します。なお、検定職種のうち作業が複数の場合、受検者の方はいずれか一つの作業を選択していただくことになります。

(2) 学科試験の受検手数料は、級別・職種・作業の区別なく、全て3,100円です。

(3) 実技試験の受検手数料は、(表1-1)、(表1-2)及び(表1-3)に記載しています。

(4) 実技試験のうち試験日の記入がされていない作業は受検票により試験日を通知します。

(表1-1) 1級・2級

【学科試験の受検手数料は全て 3,100円です】

(公示数) 43職種 79作業

検 定 職 種	作 業 名	実 技 試 験 の 形 式 ・ 日 程			実 技 試 験 受 検 手 数 料	学 科 試 験 日 程
		製作等作業 試 験	判断等試験 (要素試験)	計画立案等作業試験 (ペーパーテスト)		
園 芸 装 飾	室 内 園 芸 装 飾 作 業	受検票で通知	—	—	18,200円	9月5日(日) (午前)
造 園	造 園 工 事 作 業	受検票で通知	受検票で通知	—	18,200円	8月22日(日) (午前)
鋳 造	鋳 鉄 鋳 物 鋳 造 作 業	受検票で通知	—	—	18,200円	9月5日(日) (午前)
金 属 熱 処 理	一 般 熱 処 理 作 業	1級のみ 受検票で通知	2級のみ 8月29日(日)	8月22日(日) <午後>	18,200円	8月22日(日) (午前)
	浸 炭 ・ 浸 炭 窒 化 ・ 窒 化 処 理 作 業					
	高 周 波 ・ 炎 熱 処 理 作 業					
機 械 加 工	普 通 旋 盤 作 業	受検票で通知	—	—	18,200円	8月29日(日) (午前)
	数 値 制 御 旋 盤 作 業	受検票で通知	—	8月29日(日) <午後>		
	フ ラ イ ス 盤 作 業	受検票で通知	—	—		
	数 値 制 御 フ ラ イ ス 盤 作 業	受検票で通知	—	8月29日(日) <午後>		
	平 面 研 削 盤 作 業	受検票で通知	—	—		
	円 筒 研 削 盤 作 業	受検票で通知	—	—		
	ホ ブ 盤 作 業	受検票で通知	—	—		
	数 値 制 御 ホ ブ 盤 作 業	受検票で通知	—	8月29日(日) <午後>		
	マ シ ニ ン グ セ ン タ 作 業	受検票で通知	受検票で通知	8月29日(日) <午後>		
放 電 加 工	数 値 制 御 形 彫 り 放 電 加 工 作 業	受検票で通知	—	1級のみ 9月5日(日) <午後>	18,200円	9月5日(日) (午前)
	ワ イ ヤ 放 電 加 工 作 業	受検票で通知	—			
金 属 プ レ ス 加	金 属 プ レ ス 作 業	受検票で通知	—	8月22日(日) <午後>	18,200円	8月22日(日) (午前)
鉄 工	製 缶 作 業	受検票で通知	—	—	18,200円	8月29日(日) (午前)
	構 造 物 鉄 工 作 業	受検票で通知	—			
建 築 板 金	内 外 装 板 金 作 業	受検票で通知	—	—	18,200円	9月5日(日) <午後>
	ダ ク ト 板 金 作 業	受検票で通知	—			

検 定 職 種	作 業 名	実 技 試 験 の 形 式 ・ 日 程			実 技 試 験 受 検 手 数 料	学 科 試 験 日 程
		製作等作業 試 験	判断等試験 (要素試験)	計画立案等作業試験 (ペーパーテスト)		
工 場 板 金	曲 げ 板 金 作 業	受検票で通知	—	—	18,200円	9月5日(日) <午後>
	打 出 し 板 金 作 業	受検票で通知	—			
め っ き	電 気 め っ き 作 業	受検票で通知	—	—	18,200円	8月29日(日) (午前)
	溶 融 垂 鉛 め っ き 作 業	—	9月5日(日)	—		
仕 上 げ	治 工 具 仕 上 げ 作 業	受検票で通知	—	—	18,200円	9月5日(日) (午前)
	金 型 仕 上 げ 作 業	受検票で通知	—	—		
	機 械 組 立 仕 上 げ 作 業	受検票で通知	—	—		
切削工具研削	工 作 機 械 用 切 削 工 具 研 削 作 業	受検票で通知	—	—	18,200円	9月5日(日) <午後>
ダイカスト	コ ー ル ド チ ャ ン バ ダ イ カ ス ト 作 業	受検票で通知	—	8月29日(日) <午後>	18,200円	8月29日(日) (午前)
電 子 機 器 組 立 て	電 子 機 器 組 立 て 作 業	受検票で通知	—	—	18,200円	8月29日(日) <午後>
電 気 機 器 組 立 て	配 電 盤 ・ 制 御 盤 組 立 て 作 業	受検票で通知	—	—	18,200円	9月5日(日) (午前)
	開 閉 制 御 器 具 組 立 て 作 業	受検票で通知	—	—		
産業車両整備	産 業 車 両 整 備 作 業	受検票で通知	—	—	18,200円	8月22日(日) <午後>
鉄 道 車 両 製 造 ・ 整 備	内 部 ギ 装 作 業	受検票で通知	—	—	18,200円	9月5日(日) (午前)
	配 管 ギ 装 作 業	受検票で通知	—	—		
	電 気 ギ 装 作 業	受検票で通知	—	1級のみ 9月5日(日) <午後>		
	鉄 道 車 両 現 図 作 業	8月29日(日) (午前)	—	—		
光学機器製造	光 学 ガ ラ ス 研 磨 作 業	受検票で通知	—	—	18,200円	8月22日(日) <午後>
建設機械整備	建 設 機 械 整 備 作 業	受検票で通知	—	8月29日(日) <午後>	18,200円	8月29日(日) (午前)
婦人子供服 製 造	婦人子供注文服製作作業	受検票で通知	—	—	15,100円	8月29日(日) <午後>
家 具 製 作	家 具 手 加 工 作 業	受検票で通知	—	—	18,200円	8月29日(日) <午後>
	い す 張 り 作 業	受検票で通知	—	—		
建 具 製 作	木 製 建 具 手 加 工 作 業	受検票で通知	—	—	18,200円	8月29日(日) <午後>
印 刷	オ フ セ ッ ト 印 刷 作 業	受検票で通知	—	—	18,200円	8月29日(日) <午後>

検 定 職 種	作 業 名	実 技 試 験 の 形 式 ・ 日 程			実 技 試 験 受 検 手 数 料	学 科 試 験 日 程
		製作等作業 試 験	判断等試験 (要素試験)	計画立案等作業試験 (ペーパーテスト)		
プラスチック 成 形	射 出 成 形 作 業	受検票で通知	—	—	18,200円	8月22日(日) <午後>
	イ ン フ レ ー シ ョ ン 成 形 作 業	受検票で通知	—	—		
石 材 施 工	石 張 り 作 業	受検票で通知	—	—	18,200円	9月5日(日) (午前)
と び	と び 作 業	受検票で通知	—	—	18,200円	8月22日(日) <午後>
左 官	左 官 作 業	受検票で通知	—	—	18,200円	8月29日(日) <午後>
ブロック建築	コンクリートブロック 工 事 作 業	受検票で通知	—	—	18,200円	9月5日(日) <午後>
タイル張り	タ イ ル 張 り 作 業	受検票で通知	—	—	18,200円	9月5日(日) (午前)
畳 製 作	畳 製 作 作 業	受検票で通知	—	—	18,200円	8月29日(日) <午後>
防 水 施 工	ウ レ タ ン ゴ ム 系 塗 膜 防 水 工 事 作 業	受検票で通知	—	—	18,200円	8月22日(日) <午後>
	ア ク リ ル ゴ ム 系 塗 膜 防 水 工 事 作 業	受検票で通知	—	—		
	セメント系防水工事作業	受検票で通知	—	—		
	シーリング防水工事作業	受検票で通知	—	—		
	改質アスファルトシート常温 粘着工法防水工事作業	受検票で通知	—	—		
	F R P 防 水 工 事 作 業	受検票で通知	—	—		
内 装 仕 上 げ 施 工	プ ラ ス チ ッ ク 系 床 仕 上 げ 工 事 作 業	受検票で通知	—	—	18,200円	8月29日(日) (午前)
	カ ー ペ ッ ト 系 床 仕 上 げ 工 事 作 業	受検票で通知	—	—		
	木質系床仕上げ工事作業	受検票で通知	—	—		
	鋼 製 下 地 工 事 作 業	受検票で通知	—	—		
	ボード仕上げ工事作業	受検票で通知	—	—		
	化粧フィルム工事作業	受検票で通知	—	—		
熱 絶 縁 施 工	保 温 保 冷 工 事 作 業	受検票で通知	—	—	18,200円	9月5日(日) (午前)
	吹付け硬質ウレタンフォーム 断 熱 工 事 作 業	受検票で通知	—	—		
サッシ施工	ビル用サッシ施工作業	受検票で通知	—	—	18,200円	8月22日(日) (午前)
ウェルポイント施工	ウェルポイント工事作業	—	8月29日(日)	8月29日(日) (午前)	18,200円	9月5日(日) (午前)
化 学 分 析	化 学 分 析 作 業	8月29日(日)	—	1級のみ 8月22日(日) <午後>	18,200円	8月22日(日) (午前)

【学科試験の受検手数料は全て 3,100円です】

検 定 職 種	作 業 名	実 技 試 験 の 形 式 ・ 日 程			実 技 試 験 受 検 手 数 料	学 科 試 験 日 程
		製作等作業 試 験	判断等試験 (要素試験)	計画立案等作業試験 (ペーパーテスト)		
貴 金 属 装 身 具 製 作	貴 金 属 装 身 具 製 作 作 業	受検票で通知	—	—	18,200円	8月29日(日) (午前)
表 装	表 具 作 業	受検票で通知	—	—	18,200円	9月5日(日) (午前)
	壁 装 作 業	受検票で通知	—	—		
塗 装	建 築 塗 装 作 業	受検票で通知	—	—	18,200円	8月22日(日) (午前)
	金 属 塗 装 作 業	受検票で通知	—	—	18,200円	
写 真	肖 像 写 真 デ ジ タ ル 作 業	受検票で通知	—	—	18,200円	9月1日(水) (午前)
商品装飾展示	商 品 装 飾 展 示 作 業	8月22日(日) (午前)	—	—	18,200円	8月29日(日) (午前)
フラワー装飾	フ ラ ワ ー 装 飾 作 業	受検票で通知	—	—	18,200円	9月5日(日) <午後>

(表1-2) 単一等級

【学科試験の受検手数料は全て 3,100円です】

(公示数) 5職種 6作業

検 定 職 種	作 業 名	実 技 試 験 の 形 式 ・ 日 程			実 技 試 験 受 検 手 数 料	学 科 試 験 日 程
		製作等作業 試 験	判断等試験 (要素試験)	計画立案等作業試験 (ペーパーテスト)		
溶 射	防 食 溶 射 作 業	受検票で通知	—	—	18,200円	9月5日(日) (午前)
枠組壁建築	枠 組 壁 工 事 作 業	受検票で通知	—	9月5日(日) <午後>	18,200円	9月5日(日) (午前)
路面表示施工	溶 融 ペ イ ン ト ハ ン ド マ ー カ ー 工 事 作 業	受検票で通知	—	—	18,200円	9月5日(日) <午後>
	加 熱 ペ イ ン ト マ シ ン マ ー カ ー 工 事 作 業	受検票で通知	—	—	18,200円	
塗 料 調 色	調 色 作 業	受検票で通知	受検票で通知	—	18,200円	9月5日(日) <午後>
産 業 洗 浄	高 圧 洗 浄 作 業	受検票で通知	—	8月22日(日) <午後>	18,200円	8月22日(日) (午前)

(表1-3) 3級

【学科試験の受検手数料は全て 3,100円です】

(公示数) 14職種 20作業

検 定 職 種	作 業 名	実 技 試 験 の 形 式 ・ 日 程			実 技 試 験 受 検 手 数 料	学 科 試 験 日 程
		製作等作業 試 験	判断等試験 (要素試験)	計画立案等作業試験 (ペーパーテスト)		
園 芸 装 飾	室 内 園 芸 装 飾 作 業	受検票で通知	—	—	18,200円 (12,100円)	7月11日(日) (午前)
造 園	造 園 工 事 作 業	受検票で通知	受検票で通知	—	18,200円 (12,100円)	7月11日(日) <午後>
金 属 熱 処 理	一 般 熱 処 理 作 業	—	8月29日(日)	8月22日(日) <午後>	18,200円 (12,100円)	8月22日(日) (午前)
	浸 炭 ・ 浸 炭 窒 化 ・ 窒 化 処 理 作 業					
	高 周 波 ・ 炎 熱 処 理 作 業					
機 械 加 工	普 通 旋 盤 作 業	受検票で通知	—	—	18,200円 (12,100円)	7月11日(日) (午前)
	数 値 制 御 旋 盤 作 業	受検票で通知	—	—		
	フ ラ イ ス 盤 作 業	受検票で通知	—	—		
	平 面 研 削 盤 作 業	受検票で通知	—	—		
	マ シ ニ ン グ セ ン タ 作 業	受検票で通知	—	—		
仕 上 げ	機 械 組 立 仕 上 げ 作 業	受検票で通知	—	—	18,200円 (12,100円)	7月11日(日) <午後>
機 械 検 査	機 械 検 査 作 業	受検票で通知	—	—	15,100円 (10,100円)	7月11日(日) <午後>
電 子 機 器 組 立 て	電 子 機 器 組 立 て 作 業	受検票で通知	—	—	18,200円 (12,100円)	7月11日(日) (午前)
建 築 大 工	大 工 工 事 作 業	受検票で通知	—	—	18,200円 (12,100円)	7月11日(日) <午後>
左 官	左 官 作 業	受検票で通知	—	—	18,200円 (12,100円)	7月11日(日) (午前)
ブロック建築	コ ン ク リ ー ト ブ ロ ッ ク 工 事 作 業	受検票で通知	—	—	18,200円 (12,100円)	7月11日(日) (午前)
化 学 分 析	化 学 分 析 作 業	受検票で通知	—	—	18,200円 (12,100円)	7月11日(日) (午前)
舞台機構調整	音 響 機 構 調 整 作 業	受検票で通知	受検票で通知	—	18,200円 (12,100円)	7月11日(日) <午後>
商品装飾展示	商 品 装 飾 展 示 作 業	8月22日(日) (午前)	—	—	18,200円 (12,100円)	7月11日(日) (午前)
フラワー装飾	フ ラ ワ ー 装 飾 作 業	受検票で通知	—	—	18,200円 (12,100円)	7月11日(日) <午後>

※ 1. 高等学校、専門学校等の在校生が3級を受検する場合の実技試験受検手数料は()内の金額です。

※ 2. 表の中で実技試験に関して試験日が記載されている職種(作業)は、全国一斉に実施をいたします。それ以外の職種(作業)の実技試験は、1級・単一等級及び2級については、6月7日(月)～9月12日(日)の間で実施します。また、3級(金属熱処理職種を除く)は6月7日(月)～8月8日(日)の間で実施します。

実技試験実施日までに取得が必要な資格一覧表

(表 2-別)

検 定 職 種	作 業 名	級 別	試 験 会 場 に 持 参 す る も の
金属プレス加工	金 属 プ レ ス 作 業	1級・2級	「動力プレスの金型取付け等」特別教育受講修了証等
鉄 工	製 缶 作 業	1級	ガス溶接作業主任者免許証又はガス溶接技能講習修了証 及びアーク溶接特別教育受講修了証等
	構 造 物 鉄 工 作 業	1級・2級	
	製 缶 作 業	2級	アーク溶接特別教育受講修了証等
工 場 板 金	曲 げ 板 金 作 業	1級・2級	ガス溶接作業主任者免許証又はガス溶接技能講習修了証等
	打 出 し 板 金 作 業	1級・2級	
建設機械整備	建 設 機 械 整 備 作 業	1級・2級	
溶 射	防 食 溶 射 作 業	単一等級	
切削工具研削	工 作 機 械 用 切 削 工 具 研 削 作 業	1級・2級	「研削といしの取替え」特別教育受講修了証等
内装仕上げ施工	鋼 製 下 地 工 事 作 業	1級・2級	「研削といし（高速といし）の取替え」特別教育受講修了証等
サ ッ シ 施 工	ビル用サッシ施工作業	1級・2級	アーク溶接特別教育受講修了証等
路面標示施工	加 熱 ペ イ ン ト マシンマーカ－工事作業	単一等級	使用するマシンマーカ－車を運転できる運転免許証

* 上記に記載されている職種（作業）の実技試験を受検される場合は、試験日までに所定の免許の取得又は講習の修了をされないと受検できませんので、受検を申請するにあたって特に注意してください。

4 受検申請の手続き

(1) 提出書類

- ア 技能検定受検申請書・実技試験受検票（封筒）・学科試験受検票（封筒）…各1部
- イ 実技試験又は学科試験の免除を受けようとする場合、その免除を証明する書類
- ウ 本人（受検者）を確認する為の公的書類（14ページ参照）

(2) 申請の受付

ア 受検申請書類は、原則として受付期間【令和3年4月5日（月）から4月16日（金）】内に大阪府職業能力開発協会に届くように郵送で提出してください。期限は、4月16日（金）の当日消印有効です。

※ 郵送の際は、発送と受領の履歴が残る簡易書留やレターパックプラス（赤）等で送付（提出）してください。

※ 普通郵便、メール便等は履歴が残らないため使用しないこと。

イ 職種（作業）によっては、取りまとめ団体・組合に提出していただく場合があります。ただし、試験場の設備・受検人員等により受付期間中でも締め切ることがあります。また、実技試験の受検申請者が僅少な職種（作業）は、実技試験を実施しない場合もあります。なお、近隣府県における受検についての案内・相談を承ります。

ウ 受検申請書を持参された場合は、申請書の受領のみを行います。

エ 受検申請は、受検者ひとりにつき、1職種・1作業としてください。

オ 事業所・団体でまとめて申請される場合は、別に指定する「技能検定一括申込名簿」も同時に提出してください。

カ 受検手数料の納付については、申請書の資格審査終了後、当協会から連絡をいたしますので、連絡後1週間以内に下記の銀行口座にお振込みください。その際、振込手数料については、ご負担をお願いいたします。

なお、指定期日までに振込みの確認ができない場合は受検申請を取り消すことがあります。

銀行口座（受検手数料振込先）

【銀行・支店名】 三井住友銀行 大阪公務部（ミツイスミトモギンコウ オオサカコウムブ）

【預金種目】 普通預金

【口座番号】 0002852

【口座名義】 大阪府職業能力開発協会（オオサカフシヨクギョウノウリョクカイハツギョウカイ）

※ 振込終了後、必ず振込明細書を当協会までFAXしてください。／FAX 06-6534-7511

キ 受検申請受付終了後は、申請を取り消すことはできません。また、試験を受けなかった場合でも受検手数料は返還いたしません。

(3) 受検申請書の記入方法

15 ページの「受検申請書と実技試験・学科試験受検票（封筒）記入方法」と 17ページの受検申請書記入例を参考のうえ、正確に記入してください。

なお、受検申請後に転居された場合は、速やかに当協会に新しい住所を連絡してください。

(4) 申請用紙等の交付

ア 受検申請書は、級別ごとに色分けしています。受検案内、受検票と一緒に大阪府職業能力開発協会でお渡しいたします。

イ 郵送にて書類の入手を希望される場合は、受検予定職種（作業）・級別・送付先を明記のうえ、返信用切手 140 円分（申請書類 1 部の場合）を同封し、封書で請求してください。なお、複数の申請書等が必要な場合は大阪府職業能力開発協会に連絡してください。／TEL 06-6534-7510

5 受検資格

(1) 技能検定の受検資格は、1 級・単一等級・2 級及び 3 級の全てについて、原則として検定職種に関する実務経験が必要で、その年数は 9 ページの（表 2）のとおりに学歴や訓練歴等に応じて定められており、この要件を備えていないと受検できません。

(2) 2 級・3 級合格後、1 級・2 級の受検資格の期間短縮の申請をされる場合は、2 級・3 級の合格証書・技能士手帳・技能士カードのコピーを必ず添付してください。

(3) 3 級を受検する場合、職業能力開発施設の訓練生や高等学校等の在校生は、検定職種に関する訓練科・学科の在学（校）証明書を添付してください。

6 試験の免除

(1) 実技試験又は学科試験の免除をうけようとする方は、10 ページの（表 3）の免除資格事項に該当することが必要になりますので、受検申請書の試験の免除欄に必要事項を記入するとともに、その資格を証明する技能検定合格証書、技能証、職業訓練指導員免許証、学科・実技試験合格通知書、技能照査合格証書、1 級・単一等級・2 級の短期（技能士）訓練課程の修了証書等の書類（コピー）を必ず添付してください。

(2) 受検申請時に証明書類の添付がない場合は、免除の取扱いをすることができません。

また、申請受付期間終了後に免除資格があることが判明しても免除することができませんので、この点を特にご注意ください。

7 問題の公表

実技試験問題は、表紙の技能検定の実施日程に示した問題公表日以降、受検者の方には、送付いたします。

また、大阪府職業能力開発協会でも公表いたしますが、窓口での取り扱いは、試験問題の閲覧のみとなります。

【閲覧時間は、午前 9 時 00 分から 12 時 00 分、午後 1 時 00 分から 5 時 00 分までで、問題公表日の令和 3 年 5 月 31 日から実技試験最終日の令和 3 年 9 月 12 日までの間は、コピーサービスができません】

なお、全国統一実施職種（作業）の実技試験問題（判断等試験、計画立案等作業試験を含む）については、実技試験問題概要のみの公表になります。

(表2) 技能検定の受検資格一覧表

* 実務経験年数は、令和3年4月16日現在で算定します。

* 実務経験年数の短縮を希望される方は、厚生労働省の指定する学科・訓練科の卒業・修了が必要です。事前に当協会にお問い合わせください。

(単位： 年)

受 検 対 象 者（※1）		特 級	1 級			2 級		3 級 （※7）	単一等級	
		1 級 合格後	2 級 合格後	3 級 合格後		3 級 合格後				
実務経験のみ		5	7	2	4	2	0	0 ※8	3	
専門高校及び専修学校（大学入学資格付与課程に限る）卒業 ※2			6			0		0	1	
短大・高専・高校専攻科及び専修学校（大学編入資格付与課程に限る）卒業 ※2			5			0		0	0	
大学、専修学校（大学院入学資格付与課程に限る）卒業 ※2			4			0		0	0	
専修学校又は各種学校卒業（厚生労働大臣が指定したものに限る）※3	800時間以上		6			0		0	0 ※9	1
	1,600時間以上		5			0		0	0 ※9	1
	3,200時間以上		4			0		0	0 ※9	0
短期課程の普通職業訓練修了 ※4	700時間以上		6			0		0	0 ※6	1
普通課程の普通職業訓練修了 ※4	2,800時間未満		5			0		0	0	1
	2,800時間以上		4			0		0	0	0
専門課程又は特定専門課程の高度職業訓練修了※4			3	1	2	0	0	0	0	
応用課程又は特定応用課程の高度職業訓練修了			1			0	0	0	0	
長期課程又は短期養成課程の指導員訓練修了			1 ※5			0 ※5	0	0	0	
職業訓練指導員免許取得		1			—	—	—	0		
長期養成課程の指導員訓練修了		0			0	0	0	0		

※1：検定職種に関する学科、訓練科又は免許職種に限る。

※2：学校教育法による大学、短期大学又は高等学校と同等以上と認められる外国の学校又は他法令学校を卒業した者並びに(独法)大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者は学校教育法に基づくそれぞれのものに準ずる。

※3：大学入学資格付与過程、大学編入資格付与過程及び大学院入学資格付与過程の専修学校を除く。

※4：職業訓練法の一部を改正する法律(昭和53年法律第40号)の施行前に、改正前の職業訓練法に基づく高等訓練課程又は特別高等訓練課程の養成訓練を修了した者は、それぞれ改正後の職業能力開発促進法に基づく普通課程の普通職業訓練又は専門課程の高度職業訓練を修了したものとみなす。また、職業能力開発促進法の一部を改正する法律(平成4年法律第67号)の施行前に、改正前の職業能力開発促進法に基づく専門課程の養成訓練を修了した者は、専門課程の高度職業訓練を修了したものとみなし、改正前の職業能力開発促進法に基づく普通課程の養成訓練又は職業転換課程の能力再開訓練(いずれも800時間以上のものに限る。)を修了した者は、それぞれ改正後の職業能力開発促進法に基づく普通課程又は短期課程の普通職業訓練を修了したものとみなす。

※5：短期養成課程の指導員訓練の修了者については、訓練終了後に行われる能力審査(職業訓練指導員試験に合格した者と同等以上の能力を有すると職業能力開発総合大学校の長が認める審査)に合格している者に限る。

※6：総訓練時間が700時間未満のものを含む。

※7：3級技能検定については、上記のほか、検定職種に関する学科に在学する者及び検定職種に関する訓練科において職業訓練を受けている者も受検できる。また、工業高等学校に在学する者等であって、かつ工業高等学校の教員等による検定職種に係る講習を受講し、当該講習の責任者から技能検定試験受検に際して安全衛生上の問題がないと判定された者も受検できる。

※8：検定職種に関し実務の経験を有する者について、受検資格を認めることとする。

※9：当該学校が厚生労働大臣の指定を受けたものであるか否かに関わらず、受検資格を付与する。

(表3) 免除資格一覧表

1 技能検定関係（同一検定職種に限る）

対 象 者		技 能 検 定 試 験 の 免 除 の 範 囲					備 考
		特級	1級	2級	3級	単一等級	
特級	実技試験のみ合格	実技の全部	—	—	—	—	※1
	学科試験のみ合格	学科の全部	—	—	—	—	※1
1級	技 能 検 定 合 格	—	学科の全部			—	
	実技試験のみ合格	—	実技の全部			—	※2
	学科試験のみ合格	—	学科の全部			—	※2
2級	技 能 検 定 合 格	—	—	学科の全部		—	
	実技試験のみ合格	—	—	実技の全部		—	※2
	学科試験のみ合格	—	—	学科の全部		—	※2
3級	技 能 検 定 合 格	—	—	—	学科の全部	—	
	実技試験のみ合格	—	—	—	実技の全部	—	※2
	学科試験のみ合格	—	—	—	学科の全部	—	※2
単一等級	技 能 検 定 合 格	—	—	—	—	学科の全部	
	実技試験のみ合格	—	—	—	—	実技の全部	※2
	学科試験のみ合格	—	—	—	—	学科の全部	※2

※1：実技試験又は学科試験に合格した日から5年間（最終年にあつては、年度終りまで）有効。

※2：選択科目のある検定職種の場合には、同一の選択科目に限る。

2 職業能力開発行政関係（検定職種に関する訓練科又は免許職種に限る）

対 象 者			技 能 検 定 試 験 の 免 除 の 範 囲					備 考
			特級	1級	2級	3級	単一等級	
指導員試験合格又は指導員免許取得			—	学科の全部				
応用課程又は特定 応用過程の高度職 業訓練における 技能照査合格	技 能 照 査 合 格 後	5年	学科の全部					
	実 務 経 験 年 数	2年	—	学科の全部				
			—	—	学科の全部			
専門課程又は特定 専門過程の高度職 業訓練における 技能照査合格	技 能 照 査 合 格 後	4年	—	学科の全部				
	実 務 経 験 年 数	1年	—	—	学科の全部			
			—	—	学科の全部		—	
普通課程の普通 職業訓練における 技能照査合格	技能照査合格後2年（2,800時 間以上なら1年）の実務経験		—	—	学科の全部			
			—	—				
			—	—	学科の全部		—	
短期課程の普通 職業訓練において 修了時試験合格 かつ修了	1 級 技 能 士 コ ー ス		—	学科の全部			—	
	2 級 技 能 士 コ ー ス		—	—	学科の全部		—	
	単 一 等 級 技 能 士 コ ー ス		—	—	—		学科の全部	
中 央 技 能 検 定 委 員 2 年 以 上			—	実技の全部及び学科の全部				
都 道 府 県 技 能 検 定 委 員 2 年 以 上			—	実技の全部				
技能五輪全国大会における技能証			—	実技の全部	—	—	実技の全部	
技能五輪地方大会における技能証			—	—	実技の全部		—	※3
全 国 障 害 者 技 能 競 技 大 会	実技部門の技能証		—	—	実技の全部		—	※3
	学科部門の技能証		—	—	学科の全部		—	※3

※3：有効期限が過ぎた技能証であっても有効。

3 他法令等関係

対 象 者	技 能 検 定 試 験 の 免 除 の 範 囲					備 考
	特級	1級	2級	3級	単一等級	
建築士法による1級建築士試験若しくは2級建築士試験に合格した者又は1級建築士若しくは2級建築士の免許を受けた者	—	建築大工職種及びブロック建築職種に係る学科試験の全部			枠組壁建築職種に係る学科試験の全部	
建築士法による木造建築士試験に合格した者又は木造建築士の免許を受けた者	—	建築大工職種に係る学科試験の全部				

8 試験実施期日及び実施場所等

(1) 実技試験

実技試験は、表紙の技能検定の実施日程に示した期間内の指定する日に行います。ただし、全国統一実施職種については、2ページから6ページまでの(表1-1)、(表1-2)及び(表1-3)に示した日に実技試験及び実技試験の一部として判断等試験(要素試験)又は計画立案等作業試験(ペーパーテスト)を全国一斉に実施します。なお、受検者には、受検番号・試験日・集合時間・試験場等を実技試験受検票(緑色封筒)によって通知いたします。また、学科試験の実施日と同じ日に併せて実施する計画立案等作業試験は学科試験受検票(黄色封筒)によって通知いたします。

(2) 学科試験

学科試験の実施日程は、2ページから6ページまでの(表1-1)、(表1-2)及び(表1-3)に示すとおりです。受検者には、受検番号・試験日・集合時間・試験場等を学科試験受検票(黄色封筒)によって通知いたします。

(注1) 実技試験の受検票は6月上旬以降、実技試験実施団体・事業所より順次発送いたします。

(注2) 学科試験の受検票は3級職種(金属熱処理を除く)は6月下旬ごろに、それ以外の級・職種は7月下旬ごろに、大阪府職業能力開発協会より発送いたします。

9 合格発表等

(1) 合格発表

技能検定の合格者及び実技試験又は学科試験の一部合格者は、金属熱処理除く3級職種(作業)が令和 3年 8月 27(金)に、その他の職種(作業)は令和3年10月1日(金)に、級別・作業名・受検番号により、大阪府商工労働部雇用推進室人材育成課及び大阪府職業能力開発協会で発表するとともに、当協会のホームページ <https://www.osaka-noukai.jp> にも掲載いたします。

(2) 試験結果の通知

受検申請されたすべての方に試験結果通知書が、合格発表日の翌日以降に届きます。実技試験又は学科試験の一部合格の方は、この通知書が、次回技能検定を受検する場合に免除資格を証明する書類となりますので、大切に保管してください。

(3) 合格証書等の交付

技能検定の合格者には、大阪府商工労働部雇用推進室人材育成課から、合格証書及び技能士章が交付されます。(交付日時等については、合格発表時にお知らせします)

(4) 合格証書等の受領方法

受検申請書の「1.とりまとめ団体・事業所に受領を委任」を選択された方は、団体・事業所からの連絡をお待ちください。

「2.個人で受領」を選択された方は、指定日以降に大阪府商工労働部雇用推進室人材育成課で受領してください。

10 個人情報の取扱いについて

(1) 受検申請書に記入された個人情報は、技能検定の実施に関する目的以外には使用いたしません。

(2) 合格証書の受領方法において「1.とりまとめ団体・事業所に受領を委任」を選択された方の試験結果等の情報のうち受領に必要なものは、とりまとめ団体・事業所に通知されます。

✿✿✿✿✿ 技能五輪大阪府大会 ✿✿✿✿✿

この大会は、技能五輪全国大会に派遣する選手を選抜する為の大阪府予選として、技能検定の実技試験に併せて行うものです。技能五輪全国大会は、青年技能者の日本一を決定する技能競技大会で、都道府県における職業訓練の振興と、青年技能者相互の理解と親交を深める為に実施されるものです。

技能五輪大阪府大会で優秀な成績をおさめて大阪府代表となり、次いで技能五輪全国大会に出場して優勝すると、日本代表選手として、技能五輪国際大会に出場することができます。

1 競技職種及び参加料

令和3年度前期の技能五輪大阪府大会の競技職種は、技能検定の実技試験と対応する職種・作業（以下「対応職種」という）について実施します。参加料は、（表4）のとおりです。対応職種で申請される方で減額措置の対象者については参加料が減額されます（1ページ参照）。

（表4）

競 技 職 種	対 応 す る 検 定 職 種	作 業 名	参 加 料
旋 盤	機 械 加 工	普 通 旋 盤 作 業	18,200円
フ ラ イ ス 盤		フ ラ イ ス 盤 作 業	18,200円
構 造 物 鉄 工	鉄 工	構 造 物 鉄 工 作 業	18,200円
曲 げ 板 金	工 場 板 金	曲 げ 板 金 作 業	18,200円
自 動 車 板 金		打 出 し 板 金 作 業	18,200円
機 械 組 立 て	仕 上 げ	機 械 組 立 仕 上 げ 作 業	18,200円
電 子 機 器 組 立 て	電 子 機 器 組 立 て	電 子 機 器 組 立 て 作 業	18,200円
工 場 電 気 設 備	電 気 機 器 組 立 て	配 電 盤 ・ 制 御 盤 組 立 て 作 業	18,200円
洋 裁	婦 人 子 供 服 製 造	婦 人 子 供 注 文 服 製 作 作 業	15,100円
家 具	家 具 製 作	家 具 手 加 工 作 業	18,200円
建 具	建 具 製 作	木 製 建 具 手 加 工 作 業	18,200円
と び	と び	と び 作 業	18,200円
左 官	左 官	左 官 作 業	18,200円
タ イ ル 張 り	タ イ ル 張 り	タ イ ル 張 り 作 業	18,200円
貴 金 属 装 身 具	貴 金 属 装 身 具 製 作	貴 金 属 装 身 具 製 作 作 業	18,200円
フ ラ ワ ー 装 飾	フ ラ ワ ー 装 飾	フ ラ ワ ー 装 飾 作 業	18,200円

2 参加資格

技能五輪大阪府大会の参加資格は、9ページの技能検定受検資格に関係なく 平成 10年 1月 1日以降に生まれた方が参加できます。

なお、技能検定受検資格のある方は「対応職種」の学科試験も受検できます。

3 参加申込の手続

(1) 提出書類

ア 技能五輪大阪府大会のみに参加しようとする方は、技能競技大会参加申込書・事業主の参加推薦書・実技試験受検票（技能五輪参加票：緑色封筒） 各1通

イ 技能五輪大阪府大会の参加に併せて「対応職種」の2級技能検定を受検しようとする方は、2級技能検定受検申請書・事業主の参加推薦書・実技試験受検票（緑色封筒）及び学科試験受検票（黄色封筒） 各1通

(2) 参加申込の受付及び参加申込書の記入要領

技能検定に準じます。また、2級と併せて申請する場合は、受検申請書の上欄外に **国 競** 又は **五 輪** と赤色で表示してください。

4 競技課題の公表

「対応職種」の競技課題は、2級技能検定実技試験問題を使用します。公表日は、技能検定と同じです。

5 競技実施期日及び実施場所等

技能検定実技試験の実施期間内で指定する日に行います。

参加者には、参加番号・競技日・集合時間・競技場等を後日通知します。

6 技能五輪全国大会及び国際大会

技能五輪大阪府大会に参加し、優秀な成績を修めた方は、第59回技能五輪全国大会派遣選手として推薦されます。

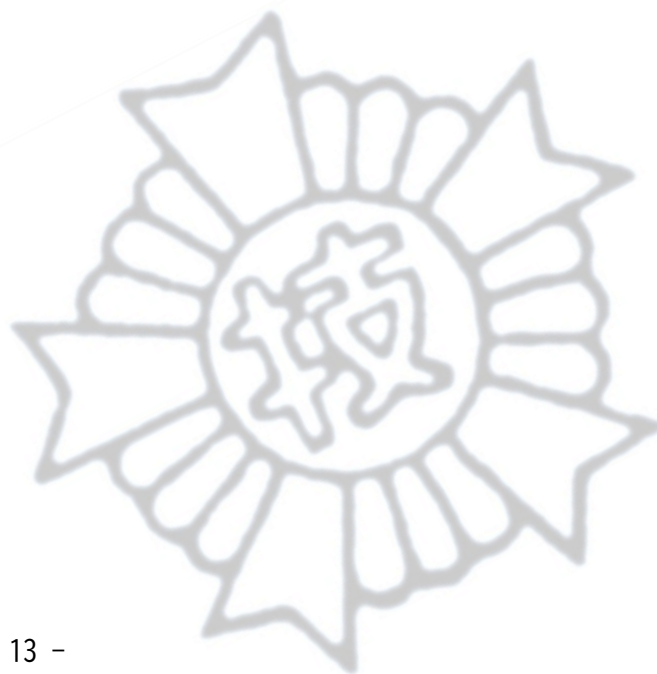
7 技能証の交付

(1) 技能五輪大阪府大会のみに参加して、一定の水準以上の成績をおさめた方には、技能証が交付されます。

技能証を交付された方は、対応する2級の検定職種の実技試験が免除されます。

【10ページ(表3) 免除資格一覧表参照】

(2) 技能証は、令和 3年 10月1日(金)から大阪府職業能力開発協会にて交付いたします。



参 考

※ 下記の表中の資格（出入国管理及び難民認定法）により在留している外国人には、減額措置の適用があります。

別表第二	在 留 資 格
	永住者、日本人の配偶者等、永住者の配偶者等、定住者

※ 下記の表中の資格（出入国管理及び難民認定法）により入国している外国人には、減額措置の適用はありません。

別表第一	在 留 資 格
一	外交、公用、教授、芸術、宗教、報道
二	高度専門職、経営・管理、法律・会計業務、医療、研究、教育、技術・人文知識・国際業務、企業内転勤、興行、技能、技能実習
三	文化活動、短期滞在
四	留学、研修、家族滞在
五	特定活動

※ 本人（受検者）の氏名及び生年月日を確認する為の公的書類一覧表（抜粋）

書 類 名	備 考
運転免許証	
個人番号カード	個人番号が記載されている箇所を黒塗りすること
日本パスポート	写 真 欄
住 民 票	
日本の官公庁が発行した身分証明書	氏名及び生年月日が確認できるものに限る
健康保険被保険者証	
在学証明書	氏名及び生年月日が確認できるものに限る
特別永住者証明書	
在留カード	
外国パスポート	写真欄と日本国査証

受検申請書と実技試験・学科試験受検票（封筒）の記入方法

1. 受検申請書の記入 ※ 記入ミスは二重線で訂正し書き直すこと、訂正印不要。修正テープ（白消し）は使用しない

① 申請日（記入日）と氏名の記入 ※ 合格証書の氏名は、受検申請書に記入された漢字（氏名）のとおり記載される為、申請書と裏面に貼付する本人確認書類の漢字（氏名）は統一する

◎ 統一できている ◎ 申請書記入 → 国枝 高司 / 本人確認書類 → 国枝 高司
× 統一できていない × 申請書記入 → 国枝 高司 / 本人確認書類 → 國枝 高司

② 検定職種と作業名を記入し、実技／学科を選択した後、氏名・生年月日・連絡先等を記入すること

・両方受検する → 実技／学科 両方を○で囲む

・実技のみを受検する → 実技を○で囲む

・学科のみを受検する → 学科を○で囲む

・氏名、ふりがな、生年月日、年齢、性別、郵便番号、住所、電話番号は当協会より受検に関する重要な連絡を行う場合がある為、ミスや漏れが無いよう正確に記入する

※ 郵便番号や住所（建物名・部屋番号）を省略しない

※ 電話番号は（自宅・携帯・勤務先のうち）日中、必ず連絡の取れる番号を記入する

※ 電話番号以外に必ず連絡の取れるFAXやメールアドレス等を申請日上の余白箇所に記入する

③ 学歴は次の事に注意して記入すること

・中学、高校、高専、短大、大学、大学院を記入する ※ 専門学校及び訓練校等は記入しない

・学校名、学科、課程、所在地（住所）は省略しない

・大学院修了者は卒業大学、学科・課程も記入する

・在学期間（年月）を短縮しない（卒業式が2月の場合でも在籍基準は3月31日までの為、卒業月は3月となる）

※ 編入者は編入前の学校も記入する

・卒業、修了を選択し○で囲む。在学中の場合は「2年在学中」の様に、学年（数字）を記入する

④ 訓練歴は次の事に注意して記入すること

・専門学校及び訓練校等を記入する

・訓練科（学科、課程）、所在地（住所）は省略しない

・訓練を受けた期間（年月）は短縮しない（専門学校や訓練校の在籍基準に従い記入する）

・修了を選択し○で囲む。在学中の場合は「2年在学中」の様に、学年（数字）を記入する

⑤ 職歴は次の事に注意して記入すること

・受検作業に関する職歴のみを現職（最新）から記入する

・受検作業に関連性の無い職歴は記入不要

・事業所名は在籍中または在籍していた会社等を記入する（複数社記入もOK）

・事業所名、所在地（住所）、電話番号は省略しない

・在職期間（実務経験年数）は短縮しない ※ 年数が不足している場合は、受検できません

・職務内容を記入する

・実務経験年数の短縮を希望する場合は、合格証書に記載されている検定職種・（作業名）・技能士番号・合格年月日を確認し、正しく記入する。合格証書のコピーは申請書と一緒に提出 ※ 記入の際、漢数字は使用しない

⑥ 試験の免除は該当者が番号を選択し、右側の「合格し又は免許を受けた年月日」を記入する

・実技試験免除該当者 → 免除項目2つのうち、該当する番号を○で囲む

・学科試験免除該当者 → 免除項目6つのうち、該当する番号を○で囲む

・合格し又は免許を受けた年月日は、受検者が保持している合格通知書、合格証書、技能士証等に記載されている作業名・番号（片方合格通知番号、技能士番号等）・合格（取得）年月日を確認し、正しく記入する ※ 記入の際、漢数字は使用しない

・合格通知書、合格証書、技能士証等のコピーを申請書と一緒に提出する

・試験の免除に該当しない受検者は記入不要

- ⑦ 合格証書の受領方法は希望する番号を選択し記入する
 ・1を選択 → 仲介している団体名や事業所名(会社名等)と5ケタの登録番号も記入する
 ・2を選択 → 個人(受検者本人)受領の為、番号以外は記入不要
- ⑧ 右票1、右票2の記入は左票の②及び③、④、⑤と同じ内容を記入する
 ・実技・学科両方受検及び実技試験のみ受検の場合は右票1・右票2の両方、学科試験のみ受検の場合は右票1のみ記入する
 ・検定職種、作業名、氏名、ふりがな、住所、電話 → ②
 ・勤務先・学校の名称及び所在地 → ③、④、⑤
 ・左票と右票は切り離さない
- ⑨ 写真
 ・写真の枚数→実技・学科両方受検及び実技試験のみ受検の場合は2枚必要
 学科試験のみ受検の場合は1枚必要(右票1へ貼付)
 ・写真のサイズ → タテ4.5cm×ヨコ4.0cm(履歴書サイズもOK)
 ※ 枠内に収まるサイズで受検者の顔がはっきりと確認できる写真を貼付する
 ※ 枠より大きいサイズや受検者の顔が判別できない写真は貼付できません
 ・撮影データをプリントアウトする場合は、写真専用紙に印刷する ※ コピー用紙への印刷は認めていません
- ⑩ 本人確認書類は次の事に注意して申請書の裏にコピーを貼付すること
 ・本人確認書類とは → 運転免許証、健康保険証、パスポート、住民票、在留カード等の公的機関が発行した書類
 ・本人確認書類(コピー)を枠内に貼付する
 ※ 学生は在学証明書をクリップ等で添付する
 ※ 貼付(添付)が無い場合は、申請書を受理できません
 ※ 氏名・生年月日が不鮮明または途切れている、有効期限切れ、失効している等の身分証のコピーは貼付できません
 ・身分証の裏面に記載がある場合は、表・裏両方のコピーを貼付する
 ・婚姻等により姓名に変更がある場合は、変更手続きを完了し、新しい身分証のコピーを貼付する
 ※ 申請書提出締切りまでに変更手続きが間に合わない場合は、変更の事実が確認できる書類(新・旧名義の記載のある住民票または戸籍謄(抄)本など)を提出する

2. 実技試験・学科試験の受検票(封筒)の記入 ※ 記入ミスは二重線で訂正し書き直すこと。訂正印不要。修正テープ(白消し)は使用しない

- 1】郵便番号、住所、氏名を記入し切手を貼付する ※ 記入ミスや漏れがある場合、配達されないので注意する
- 2】「1・2・3・単一」のうち、該当する受検級を○で囲む
- 3】検定職種、作業名を記入 ※ 申請書と同じ内容を記入する

* 申請期間中は多数の問い合わせで電話が繋がりにくい場合があります。ご不明な点は、お早めにお問い合わせください。

TEL : 06-6534-7510 (平日 9 : 00~16 : 30まで。土日祝日は休業日です)

***** 記入例 *****

技能検定を受けないので申請します。

本申請で記入した情報を、大阪府及び大阪府職業能力開発協会が技能検定を実施するするために、必要な範囲で利用すること、また技能検定試験実施協力事業所・団体等に必要範囲で提供し、利用させることに同意します。

[illegible]

主：裏面の「記入上の注意」をよく読んで記入して下さい。

※ 連絡の取れるメールアドレスや
FAX等を記入

⑩ 申請書うら面の
本人確認書類も忘れずに

※	実	技	試	験	※	学	科	取	納
※	収	納	済	印		収	納	済	印

学歴年齢早見表

※ 1月1日～4月1日生まれの方については、前年の欄を適用してください。

生 年	年 齢	中学卒業年	高校卒業年	大学卒業年	生 年	年 齢	中学卒業年	高校卒業年	大学卒業年
昭和 31 年	65 歳	昭和 47 年	昭和 50 年	昭和 54 年	昭和 61 年	35 歳	平成 14 年	平成 17 年	平成 21 年
昭和 32 年	64 歳	昭和 48 年	昭和 51 年	昭和 55 年	昭和 62 年	34 歳	平成 15 年	平成 18 年	平成 22 年
昭和 33 年	63 歳	昭和 49 年	昭和 52 年	昭和 56 年	昭和 63 年	33 歳	平成 16 年	平成 19 年	平成 23 年
昭和 34 年	62 歳	昭和 50 年	昭和 53 年	昭和 57 年	昭和 64 年 平成 元 年	32 歳	平成 17 年	平成 20 年	平成 24 年
昭和 35 年	61 歳	昭和 51 年	昭和 54 年	昭和 58 年	平成 2 年	31 歳	平成 18 年	平成 21 年	平成 25 年
昭和 36 年	60 歳	昭和 52 年	昭和 55 年	昭和 59 年	平成 3 年	30 歳	平成 19 年	平成 22 年	平成 26 年
昭和 37 年	59 歳	昭和 53 年	昭和 56 年	昭和 60 年	平成 4 年	29 歳	平成 20 年	平成 23 年	平成 27 年
昭和 38 年	58 歳	昭和 54 年	昭和 57 年	昭和 61 年	平成 5 年	28 歳	平成 21 年	平成 24 年	平成 28 年
昭和 39 年	57 歳	昭和 55 年	昭和 58 年	昭和 62 年	平成 6 年	27 歳	平成 22 年	平成 25 年	平成 29 年
昭和 40 年	56 歳	昭和 56 年	昭和 59 年	昭和 63 年	平成 7 年	26 歳	平成 23 年	平成 26 年	平成 30 年
昭和 41 年	55 歳	昭和 57 年	昭和 60 年	平成 元 年	平成 8 年	25 歳	平成 24 年	平成 27 年	平成 31 年 令和 元 年
昭和 42 年	54 歳	昭和 58 年	昭和 61 年	平成 2 年	平成 9 年	24 歳	平成 25 年	平成 28 年	令和 2 年
昭和 43 年	53 歳	昭和 59 年	昭和 62 年	平成 3 年	平成 10 年	23 歳	平成 26 年	平成 29 年	令和 3 年
昭和 44 年	52 歳	昭和 60 年	昭和 63 年	平成 4 年	平成 11 年	22 歳	平成 27 年	平成 30 年	
昭和 45 年	51 歳	昭和 61 年	平成 元 年	平成 5 年	平成 12 年	21 歳	平成 28 年	平成 31 年 令和 元 年	
昭和 46 年	50 歳	昭和 62 年	平成 2 年	平成 6 年	平成 13 年	20 歳	平成 29 年	令和 2 年	
昭和 47 年	49 歳	昭和 63 年	平成 3 年	平成 7 年	平成 14 年	19 歳	平成 30 年	令和 3 年	
昭和 48 年	48 歳	平成 元 年	平成 4 年	平成 8 年	平成 15 年	18 歳	平成 31 年 令和 元 年		
昭和 49 年	47 歳	平成 2 年	平成 5 年	平成 9 年	平成 16 年	17 歳	令和 2 年		
昭和 50 年	46 歳	平成 3 年	平成 6 年	平成 10 年	平成 17 年	16 歳	令和 3 年		
昭和 51 年	45 歳	平成 4 年	平成 7 年	平成 11 年	1. 受検申請書は全て和暦(昭和、平成、令和)で記入すること。※ 西暦の記入は認めていません。 2. 元号は下記のとおりです。 昭和(S)・・・昭和64年1月7日まで 平成(H)・・・平成元年1月8日～平成31年4月30日まで 令和(R)・・・令和元年5月1日～				
昭和 52 年	44 歳	平成 5 年	平成 8 年	平成 12 年					
昭和 53 年	43 歳	平成 6 年	平成 9 年	平成 13 年					
昭和 54 年	42 歳	平成 7 年	平成 10 年	平成 14 年					
昭和 55 年	41 歳	平成 8 年	平成 11 年	平成 15 年					
昭和 56 年	40 歳	平成 9 年	平成 12 年	平成 16 年					
昭和 57 年	39 歳	平成 10 年	平成 13 年	平成 17 年					
昭和 58 年	38 歳	平成 11 年	平成 14 年	平成 18 年					
昭和 59 年	37 歳	平成 12 年	平成 15 年	平成 19 年					
昭和 60 年	36 歳	平成 13 年	平成 16 年	平成 20 年					

MEMO

This image shows a full page of white paper with horizontal dashed lines, typical of primary-ruled notebook paper. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

あみだ池筋

なにわ筋

四ツ橋筋

御堂筋

阿波座駅

本町駅

中央大通り

〔大阪メトロ 中央線〕

中央大通り

2番出口
三井住友
銀行

りそな
銀行



吉野家

23番出口
三菱UFJ
銀行

22番出口

阪神高速環状線

あみだ池筋

〔大阪メトロ 御堂筋線〕

〔大阪メトロ 四ツ橋線〕

大阪府職業能力開発協会

住所：大阪市西区阿波座2-1-1
大阪本町西第一ビルディング6階
*1階はセブンイレブンです
TEL：06-6534-7510 FAX：06-6534-7511

【交通案内】

- * 大阪メトロ 御堂筋線・四ツ橋線・中央線「本町」駅下車
23番出口より西へ約300m
- * 大阪メトロ 中央線・千日前線「阿波座」駅下車

